

頑張る

農業法人

京丹後市弥栄町溝谷地区の外村集落で、高齢化・後継者不足の中、水田の保全を目指して1998年2月に有志の農家10人で設立した農業生産法人「有限会社くらぶ・ふあーまあー」。

同町内での農業法人設立は2番目。農作業受託やJA京都の委託を受け、水稲育苗などに取り組んでいる。少ないスタッフの中で、今後は課題である後継者の育成にも取り組んでいく。

同町南部に位置する集落は小さな山に囲まれ、竹野川に注ぐきれいな支流が流れる農村地帯で、農家約25戸で約33畧の水田が広がる。

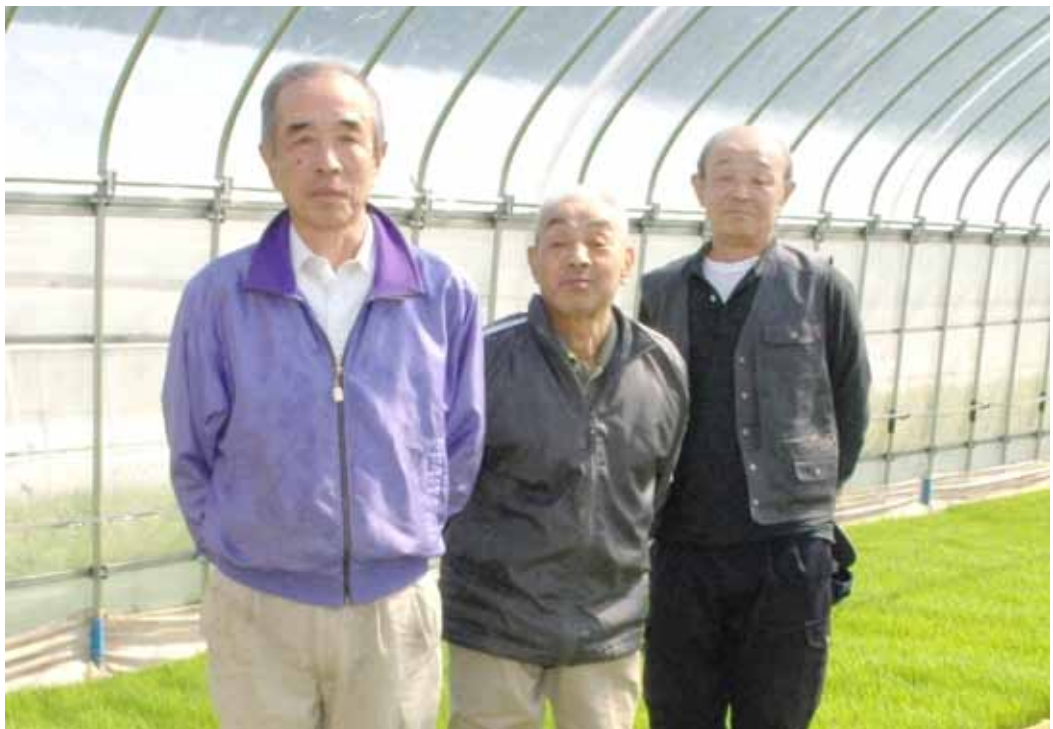
当地も高齢化・担い手不足が進み、農作業委託を望む農家が増えてきた。営農組織がなかった

ため、個別で対応するのも難しいので「共同作業をしよう」と農家10人が出資して、いち早く同社を立ち上げた。法人名は「百姓の仲間」の意味を込めて名付けた。現在の役員は、代表取締役の金久光男さん(70)と監事の森戸茂さん(80)の2人。

設立当初は仲間の水田1・6畧を集積して水稲栽培と、ハウス5棟を建てみず菜の栽培に挑んだ。その後、水稲は10畧に、ハウスも8棟に増やしてJA委託の水稲育苗を5000枚と地元用に2200枚を栽培する。

さらに、トウガラシ、えびいも、ブロッコリーなどの露地野菜にも取り組む。JAの直売所などで販売した。「経営の向

京丹後市 弥栄町 (有)くらぶ・ふあーまあー



J A京都委託の水稲育苗に取り組む(右から)金久光男代表、森戸茂監事、金久保徳水稲責任者

農地保全へ有志結束

上に向けていろいろやってみたが労力が掛かり、メンバーも減少したため、露地・ハウス野菜をやめることとなった」と金久代表は苦労を語る。

作業受託や水稲育苗に全力

法人の経営は、JA委託のハウスによる水稲育苗を経営の柱に据えて、受託作業を含め13畧での水稲栽培に力を注ぐ。栽培する丹後コシヒカリは、全国食味ランキングで最高の特Aを獲得し、消費者の人気も高い。「多くの消費者から注文をいただいております、希望に沿えるよう頑張っていく」と意気込みを見せる。

金久さんは、「後継者不足の解消が最大の課題。府の担い手養成実践農場で研修生を受け入れて若い担い手づくりや、地元小学校での農業体験教室の対応などに取り組んでいる。経営環境は厳しいが、地域農業の振興のために法人として頑張っていきたい」と話す。

▽法人所在地 京丹後市弥栄町溝谷5580の3。電話 0772(65)3443。